

平成 22 年度児童文学連続講座「日本の児童文学者たち」——参考図書紹介

国際子ども図書館資料情報課長

大幸直子

1 日本児童文学全般

概要を把握するために

2 宮沢賢治

詩人、童話作家。1896（明治 29）年に現在の岩手県花巻市に生まれ、1933（昭和 8）年に病没。生前は、雑誌等に投稿したほかは、詩集『春と修羅』と童話集『注文の多い料理店』を自費出版。

・紹介資料：全集、絵本の例、研究書、雑誌特集、専門誌、インターネット

3 新美南吉

児童文学作家。1913（大正 2）年に、現在の愛知県半田市に生まれ、1943（昭和 18）年に病没。本名正八（しょうはち）。10 代の頃から幅広く雑誌に投稿。生前に刊行された単行本は『良寛物語 手鞠と鉢の子』と『おぢいさんのランプ』、『牛をつないだ樺の木』と『花のき村と盗人たち』の出版準備はしていたものの刊行は没後。

・紹介資料：全集、絵本の例、研究書、雑誌特集、専門誌、インターネット

4 金子みすゞ

童謡詩人。1903（明治 36）年に山口県の今の長門市に生まれ、1930（昭和 5）年に自殺。本名テル。雑誌に投稿して西条八十に認められた後、長く埋もれていたが、矢崎節夫（現金子みすゞ記念館館長）が世に出し、読まれるようになる。

・紹介資料：全集・作品、絵本、研究書、雑誌特集・記事

5 石井桃子

編集者、翻訳者、児童文学作家。1907（明治 40）年に生まれ、2008（平成 20）年に亡くなる。

・紹介資料：全集・作品（創作、図書館、児童文学）、翻訳書、研究書、雑誌特集

6 赤羽末吉

絵本作家。1910 年（明治 43）年に東京神田で生まれ、1990（平成 2）年に亡くなる。

・紹介資料：絵本以外の作品、絵本、平成 22 年度児童文学連続講座関係、研究書、雑誌論文

7 国語教材研究

・紹介資料：全般、宮沢賢治、新美南吉、金子みすゞ

8 NDL-OPAC での検索について

書誌検索⇒タイトル、著者・編者、件名

雑誌記事索引⇒論題名、著者